

不思議な縁

校長 田中 準三

桜は終わりましたが、続いてつつじの季節がやってまいりました。四季折々の草木や花はわたしたちの気持ちを和ませてくれる本当に素晴らしいものですね。毎朝、学校のまわりで、あるいは校門の前で子どもたちとあいさつを交わしています。「あいさつは心を結ぶ架け橋」とよく言われますが、若宮っ子の大きな声に私も元気をもらっています。

今年もゴールデンウィークが始まり、明後日からは4連休となります。それぞれのご家庭で楽しい計画を立てておられることと思いますが、ぜひ有意義なお休みにしていただきたいと存じます。

「ひょっとして〇〇君ではありませんか？」私事で恐縮ですが、本校に赴任した直後の4月のはじめ、校区を歩いていた時にひとりの人物に出会いました。驚くなかれ、それは大学時代の学友で、今は須磨税務署に勤務しているとのことでした。私はいわゆる教員養成系の大学出身ではありませんので、教員になっている者はむしろ稀で、学友はさまざまな職業に就いています。大学を卒業して35年が過ぎ、(年齢がばれてしまいそうです・・・)同窓は各地でバラバラになってしまいましたが、年に1度、気の合う仲間10名程度が集まって会を開いています。会そのものは居酒屋で一杯やってそのあとスナックでカラオケを歌うといった他愛のないものですが、気の置けない昔の仲間となつかしい青春時代に思いを馳せることは、ひとときのやすらぎタイムとして、私には貴重なものになっています。出会った彼はその中のひとりでもあります。前回は事情があつて私が参加できなかったこともあり、その彼が大阪国税局管内で仕事をしていることは知っていましたが、まさか須磨税務署に勤務しているとは全く知りませんでした。そのほか、通勤電車の中で昔の教え子に遭遇したり、本校の校区に住んでいる教員仲間に出くわしたりなど、若宮小に赴任してわずか一ヶ月の間にさまざまな出会いがあり、本当に不思議な縁を感じています。赴任したばかりでこの調子ですので、これから先、まだまだいろんな「縁」にめぐり合うのではないかと今からワクワクしています。